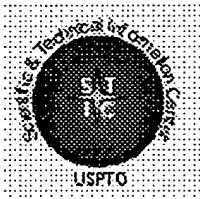


[Home](#) | [Index](#) | [Resources](#) | [Contacts](#) | [Internet](#) | [Search](#)

Scientific and Technical Information Center

[Patent Intranet](#) > [NPL Virtual Library](#) > [Translation Services](#) > [Request a Translation Site Feedback](#)[NPL Virtual Library Home](#) | [About STIC](#) | [STIC Catalog](#) | [Site Guide](#) | [EIC](#) | [Automation Training/ITRPs](#) | [Contact Us](#) | [STIC Staff](#) | [FAQ](#)

Request a Translation

Thank you, melur ramakrishnaiah. Your request (shown below) has been successfully sent to the STIC Translation Branch staff.

Your email address: melur.ramakrishnaiah@uspto.gov

U.S. Serial Number: 09/739619

Phone Number: (703) 305-1461

Office Location: Cpk2 8A43

Art Unit: 2643

Is this for the Board of Patent Appeals? Yes

Date of Request: 12-15-2004

Date Needed By: 12-29-2004

Document Identification

1. Patent

Document No.: JP363276352A

Country Code: JP

Publication Date: 11-14-1988

Language: Japanese

Answers to the Following Questions:

Will you accept an English Language Equivalent?

No

Would you like to review this document with a translator prior to having a complete written translation?

No

Would you like a Human Assisted Machine translation?

No

Submit comments and suggestions to [John Graham](#)

Report technical problems to [Steven Zhou](#)

If you cannot access some files because of a missing or non-working plug-in for PDFs or Word Documents, please contact the Help Desk at 305-9000 for installation assistance.

[Intranet Home](#) | [Index](#) | [Resources](#) | [Contacts](#) | [Internet](#) | [Search](#) | [Firewall](#) | [Web Services](#)

Last Modified: 12/15/2004 08:36:38

First Hit**End of Result Set**☐ **Generate Collection** **Print**

L1: Entry 1 of 1

File: JPAB

Nov 14, 1988

PUB-NO: JP363276352A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 63276352 A

TITLE: AUTOMATIC VOICE DIAL TELEPHONE TERMINAL EQUIPMENT

PUBN-DATE: November 14, 1988

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

OTA, MASUO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

APPL-NO: JP62111020

APPL-DATE: May 7, 1987

US-CL-CURRENT: 379/354; 704/247, 704/270

INT-CL (IPC): H04M 1/274

ABSTRACT:

PURPOSE: To attain automatic dialing by means of a memory card of each individual and a daily uttering of a caller by providing a retrieval means retrieving a data from a telephone number and a name or the like and a voice recognition means.

CONSTITUTION: At first, a voice characteristic quantity is registered in a voice standard pattern memory 14 of a memory card 4 and a telephone number and a name of an opposite party are registered in the information memory 16. In applying automatic dialing, the memory card 4 is loaded to a telephone terminal 1 and the name of the opposite party is inputted in voice from a microphone 11, than an audio analysis means 12 extracts the characteristic quantity of the voice pattern. An automatic recognition means 13 receiving it retrieves the voice characteristic quantity in the nearest and the information of address or the like is outputted to a retrieval processing section 15. The processing section 15 uses the address information to read the telephone number and name of the like from the memory 16 and displays the result on a display section 3. In depressing a dial-in key 7 by the caller, a dial number is sent.

COPYRIGHT: (C)1988,JPO&Japio

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭63-276352

⑪ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和63年(1988)11月14日

H 04 M 1/274

7251-5K

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 音声自動ダイヤル電話端末装置

⑮ 特 願 昭62-111020

⑯ 出 願 昭62(1987)5月7日

⑰ 発 明 者 大 田 益 夫 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内

⑱ 出 願 人 松下電器産業株式会社 大阪府門真市大字門真1006番地

⑲ 代 理 人 弁理士 中尾 敏男 外1名

明 細 書

1、発明の名称

音声自動ダイヤル電話端末装置

2、特許請求の範囲

マイクロホンから入力された音声パターンの特徴量を抽出する音声分析手段と、登録状態における上記特徴量を標準パターンとして記憶し、さらに前記標準パターンに対応した電話番号、氏名等の情報をN種(N>1)記憶する外部メモリーカードと、認識状態において上記音声分析手段によって抽出される特徴量と、上記外部メモリーカードに記憶された標準パターンとの比較により音声の自動認識を行う音声認識手段と、上記音声認識手段の出力信号に対応した上記電話番号、氏名等の情報を確認表示する表示手段と、上記電話番号を電話回線に自動的にアクセスする手段とを有する音声自動ダイヤル電話端末装置。

3、発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は発信者の音声標準パターン及びそれに

対応した電話番号等の情報が記憶されたメモリーカードと、発信者の音声により、電話番号をアクセスする音声自動ダイヤル電話端末装置に関するものである。

従来の技術

従来、電話端末において通話は発信者が相手先の電話番号を、回転式ダイヤルやプッシュボタン(PB)式ダイヤルの操作を行なうか、または短縮機能により相手先の電話番号を記憶させ、少数のボタン操作によって行なわれていた。

発明が解決しようとする問題点

しかしながら上記のような方法では、発信者が相手先の電話番号、相手先に対応した短縮番号を記憶しているか、あるいは電話番号帳、メモ帳等を調べる必要があり、誤ダイヤルの可能性を多く持っている。また両手が塞がっている状態での操作は非常に困難であった。

本発明は上記欠点に鑑み、発信者が各個人のメモリーカードを所有し、相手先の氏名等の情報を日常的な発声をする事により、メモリーカード

内の標準音声パターンに最も近いものを選択し、それに対応した電話番号を前記メモリーカードより読み出し、電話回線に自動的にアクセスする手段を有する音声自動ダイヤル電話端末装置を提案するものである。

問題点を解決するための手段

この目的を達成するために、本発明の音声自動ダイヤル電話端末装置は、音声パターンの特徴量を抽出する音声分析手段と、標準パターンおよびそれに対応した電話番号、氏名等の情報を記憶する外部メモリーカードと、音声認識手段と、電話番号、氏名等の情報をデータ検索する検索手段と、確認表示する表示手段と、電話回線に自動ダイヤルするアクセス手段とから構成されている。

作用

この構成により、本発明の音声自動ダイヤル電話端末装置は、相手先の電話番号や相手先の電話番号に対応した短縮番号の記憶または調査を必要ならしめ、各個人のメモリーカードと発信者の日常的な発声により、円滑かつ簡単に自動ダイヤ

ル入力された音声パターンより特徴量を抽出する音声分析手段、13は登録状態時は音声分析手段から出力された音声特徴パターンを標準パターンメモリー14に登録し、認識状態時は音声特徴パターンと標準パターンを比較し、最も近い標準パターンのアドレス等の情報を出力する自動音声認識手段、14は各発信者のダイヤル送信のための複数の相手先を示す発声音が標準音声として登録されている標準音声パターンメモリー、15は自動音声認識手段より出力されたアドレス等の情報と、キー情報入力部からの情報によって相手先の電話番号、氏名等の情報を情報メモリー16に登録を行ったり、情報メモリー16から検索を行ない、表示部3、ダイヤル番号送出处19に相手先の電話番号、氏名等の情報を出力する検索処理部、18はダイヤル番号送出处のための相手先の電話番号、氏名等の情報を記憶する情報メモリー、17は登録状態時に電話番号及び文字列を入力するキー情報入力部、3は検索処理部より出力された相手先の電話番号、氏名等の情報を確認表示する表示手

ルを行なうことができる。

実施例

以下、本発明の一実施例について図面を参照しながら説明する。第1図は音声認識手段と外部メモリーカードを具備した本発明の音声自動ダイヤル電話端末装置の外観図である。第1図において、1は音声自動ダイヤル電話、2は認識、登録時にはマイクを兼ねる送受話機、3は確認表示部、4は音声標準パターンメモリーとそれに対応した電話番号、氏名等の情報メモリーを含んだ外部メモリーカード、5は登録時に電話番号及び文字列を入力するキー、6は登録モード、認識モード切換えスイッチ、7は認識時に自動認識が行なわれ、相手先の電話番号または氏名等の情報を発信者が確認した後にはダイヤリングを行なうダイヤルインキーである。

第2図は本発明の音声自動ダイヤル電話端末装置の構成ブロック図である。第2図において、11は登録状態時または認識状態時に発信者が音声を入力するマイクロホン、12はマイク11より

段、19は検索処理部より出力された相手先の電話番号をダイヤルするダイヤル番号送出手段、4は音声標準パターンメモリー14と情報メモリー16を含む外部メモリーカードである。

以上のように構成された音声自動ダイヤル電話端末装置について以下その動作を説明する。

第1図、第2図においてまずメモリーカード使用者の音声を登録する登録時では、マイク11より相手先の氏名等の音声入力すると、音声分析手段12によって入力された音声パターンの特徴量抽出が行なわれ、これを受け自動認識手段13が既に同じ音声特徴量が音声標準パターンメモリー14に登録されていないことを確認した後、音声標準パターンメモリー14に上記音声特徴量を登録すると同時に検索処理部15にアドレス等の情報を出力する。この時、キー情報入力部17から入力された相手先の電話番号、氏名等の情報を検索処理部15が情報メモリー16に登録する。

次に発信者の音声を認識し、自動ダイヤルを行なう場合は、マイク11より相手先の氏名等を音

声入力すると音声分析手段12によって入力された音声パターンの特徴量抽出が行なわれ、これを受けた自動認識手段13が標準パターンメモリ14内より最も近い音声特徴量を検索し、そのアドレス等の情報を検索処理部15に出力する。そして検索処理部では前記アドレス等の情報より情報メモリ16から相手先の電話番号、氏名等の情報を検索し確認表示手段3へ転送する。表示された電話番号、名前等の情報を発信者が目視で確認した後、ダイヤルインキー7を押すと相手先の電話番号をダイヤル番号送出手段17に出力し、ダイヤルが行なわれる。

発明の効果

以上のように本発明は、日常的な発声において自動ダイヤルができるため、発信者の記憶の負担を少なくし押し誤り、見誤り等のダイヤル誤動作を防止することができ、使用者各個人のメモリーカードによって特定通話者認識を行なうために不特定者が利用する電話端末装置において常に確実、正確に認識することができると同時にメモリーカ

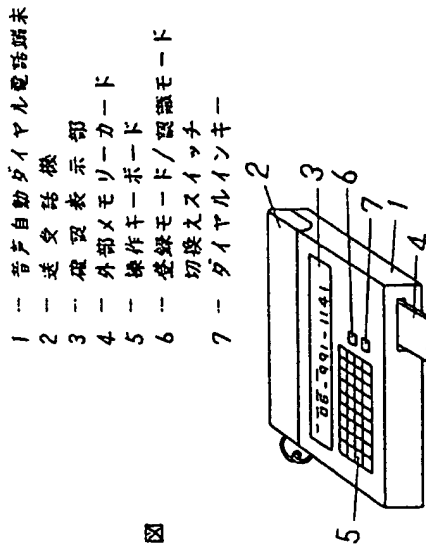
ードを用いているため登録者数には上限なく小型化ができ、その効果は大なるものがある。

4、図面の簡単な説明

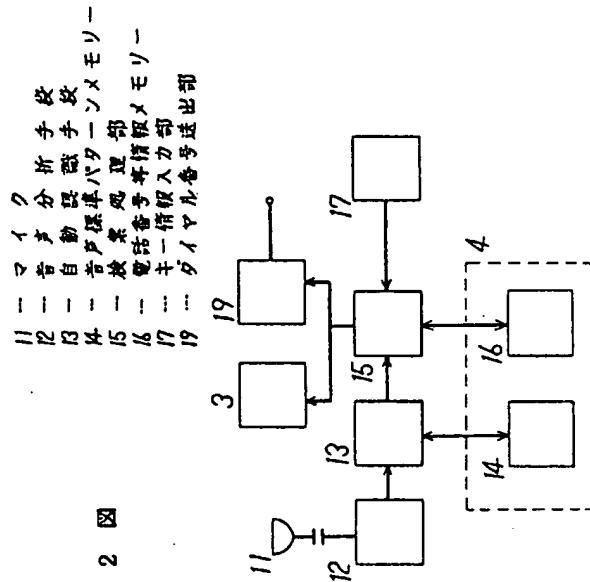
第1図は本発明の音声自動ダイヤル電話端末装置の一実施例を示す外觀図、第2図は同構成ブロック図を示す。

1……音声自動ダイヤル電話端末、2……送受話機、3……確認表示部、4……外部メモリーカード、5……操作キーボード、6……登録モード/認識モード切換えスイッチ、7……ダイヤルインキー、11……マイク、12……音声分析手段、13……自動認識手段、14……音声標準パターンメモリ、15……検索処理部、16……電話番号等情報メモリ、17……キー情報入力部、19……ダイヤル番号送出手部。

代理人の氏名 弁理士 中 尾 敏 男 ほか1名



第1図



第2図